

平成27年度授業改善推進プラン

清瀬市立清明小学校第6学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・(Aについて)全体では全国平均を上回ったが、「読む能力」で全国平均を大きく下回った。その文章の主旨を読み取ったり表現の仕方などを考えたりすることが普段から苦手である。 ・(Bについて)全ての観点で全国平均を下回った。評価の観点が複数ある問題(読みとって書く)では特に正答率が低く、活用能力に課題があることが分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・単純に内容を理解するだけの読み方から、深く丁寧な読み方ができるよう、文章を読む前に読みの視点を与えるなどし、普段から意識させていく。 ・様々な場面で、読みとったことをもとに目的や意図に応じて書く活動などを多く取り入れ、繰り返し練習させていく。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、社会的な事象に興味をもって生活していない。 ・基本的な知識の定着が低い児童が見られる。 ・資料から、必要な情報を読み取ることはできるが、読み取ったことから、自分の考えを広げていくことができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年便り、学級便りなどで家庭への啓発を行う。また、朝の会などで、最近の話題についてふれるようにする。 ・覚えるべき事柄は、小テストなどを行い、確実に定着させる。 ・複数の資料を関連付けて読み取らせたり、必要な資料を収集したり、選択させたりするなど、資料を読み取る時間を十分確保する。資料から考えたことなどを、グループや学級全体で話し合う時間をもつ。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・(Aについて)全体では全国平均を上回り、都平均とも同じポイントであった。数量関係領域でのみ全国平均を下回った。「$100-20 \times 4$」を計算する問題で間違えた子が、その後の「答えが$100-20 \times 4$の式で求められる問題を選ぶ」問題でも間違えていることが多かった。 ・(Bについて)全体では全国平均を上回った。正答率が最も低かったのは、「情報の処理・選択と判断の根拠の説明(配膳)」の3で、27.0%にとどまった。4分の1の児童は正しい選択ができず、2分の1の児童が正しい選択はできたものの説明ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりいっそう基礎基本の定着を図ることで、思考力を伴う問題に対応できるようにしていきたい。 ・単元のまとめの際には、応用問題中心に取り組む時間を設定し、問題解決の方法を身に付けさせていく。 ・新しい単元に入る前に、その単元に必要な既習事項を家庭学習などで繰り返し練習させる。 ・普段の授業の中でも「なんとなく」や「たぶん」といった言葉を使う児童が多く見受けられる。今後は、根拠をもってそれを正しく説明する学習をさせていく。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験に取り組むことが好きな児童が多く、意欲的に取り組んでいるが、実験をする根拠を正しく説明できず、表現することが苦手な児童が多く見られる。 ・科学的な思考を筋道立てて考えることが苦手、条件制御を的確にできない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何のための実験なのかを確実に把握させ、実験の仕方などを繰り返し指導し、実験することの理由を必ず書かせるようにする。 ・予想、結果の考察などをグループや学級全体で話し合う時間を持ち、科学的な思考を深めていく。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸や発音の仕方を工夫して、響きのある歌い方で歌うことはできているが、各声部の歌声を聴いて、声を合わせる2部合唱の能力には課題が見られる。 ・楽器の特徴を生かして旋律楽器や打楽器を演奏することはできているが、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、リズムを合わせて演奏することには課題が見られる。 ・音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくることに課題が見られる。 ・音楽を形づくっている要素のかかり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くことについて課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な合唱曲のパートに親しみ、2部合唱をする機会を増やすとともに、合唱しやすい声の出し方にも気を付けるようにする。 ・旋律のリズムの特徴を感じ取る学習を多く取り入れる。また、拍にのる活動を意図的に取り入れ、リズムを合わせて演奏できるようにする。 ・即興表現を基本としながら音を音楽に構成する学習を多く取り入れる。 ・学習指導要領音楽の共通事項にある音楽の要素を手がかりに、楽曲の構造を理解して鑑賞する学習を多く取り入れる。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・手順に従ってつくるものは気を付けるポイントを自分で考えながら活動ができる。 ・自分が難しいと感じると簡単にあきらめる傾向がある。 ・新しいことにチャレンジする意欲がもっとほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能や手順としておさえるポイントと、ここからは自分たちの発想を生かそうという場面をはっきり示す。 ・自分の表現自身もてるように、声掛けを細かく行う。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・興味、関心は高く、生き生きと学習しているが、家庭で手伝いをよく行う児童と、そうでない児童で、技能や知識に差が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で基本的な技能や知識を習得させ、それらを家庭の中で生かした取り組みができるように宿題等を工夫して取り組ませる。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的に興味、関心が高く、積極的に活動している。しかし、ボール運動では、女子が遠慮がちになり、運動量などにも差ができてしまう。 ・体力や技能、運動経験などの差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールなどを工夫し、運動が苦手な児童も楽しくできる活動を考えていく。 ・振り返って考えたり、友達の見ながら分析したりする時間を確保しつつ、技能を高める時間を多めに設定していく。 	